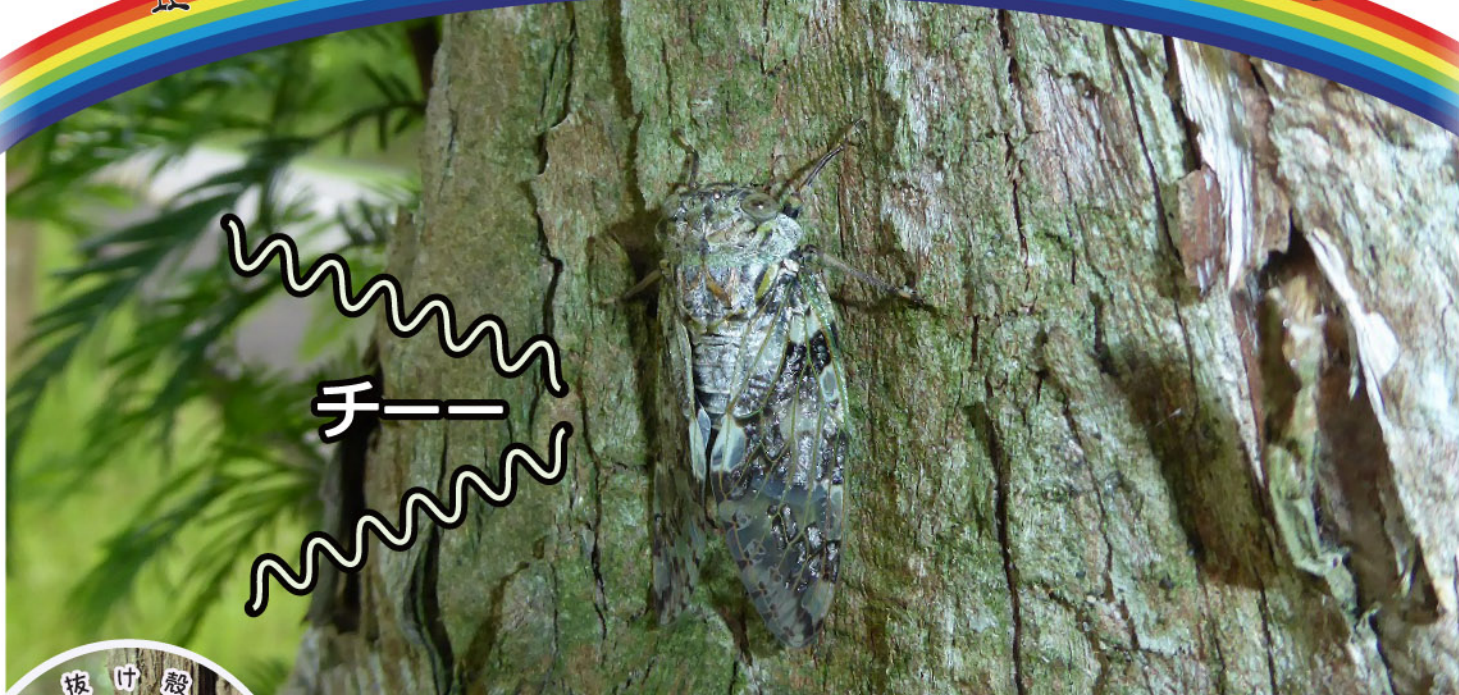


森の館通信



チー



ニイニゼミ *Platypleura kaempferi*

この時期、地中で育った幼虫が地上へ出てきて羽化します。羽と体を使って出すオスの「声」は、メスを呼ぶためのもので、オスとメスがうまく出会うことができると、メスが木の枝に産卵し、次の命につなげていきます。(さくちゃん)

きのっちのつぷやき

↓ツククサの花



森では、毎日様々な質問を受けます。先日、中学1年生の女の子から「単子葉類の花の特徴が知りたい」と質問を受けました。単子葉類（葉脈が平行。双子葉類の葉脈は網目状）の花は「①花弁（花びら）やがくの枚数が3の倍数のものが多い」、
「②イネ科のように花が目立たないものがある」のが特徴です。今の季節、この森で観察出来る単子葉類の花の代表はツククサ。青い大きな2枚の花弁が目立ちますが、じっくり観察すると、細長く白い花弁が1枚あるのが分かります。一方、3枚のがくは小さくて目立ちません。

平行な葉脈を持つ単子葉類を見つけたら、花弁とがくの枚数を数えてみてください。本当に3の倍数（3枚や6枚など）になっているかな？
※単子葉類と双子葉類の識別は、葉脈の他にも「子葉の枚数、維管束の並び方、根の形」などがあります。

(きのっち)

今月のオススマイイベント

7月31日～8月17日までの平日
13:00～16:00
(※8月9日は14:00～16:00)

「平日限定！夏休みものづくりシリーズ」

切り絵うちわや自由工作などのクラフトが楽しめます。詳細は、ふれあいの森ホームページ イベント情報へ掲載します。

対象：どなたでも
参加費：100～200円
定員：なし
※当日、直接森の館へ

8月18日(土) 10:00～12:00

「案山子づくり体験」

わらや竹を使って、田んぼに立てる案山子（かかし）を作ります。作った案山子は田んぼの回りに立てます。

対象：小学生
参加費：200円
定員：8名
受付：7/21(土)～

動物大好き



さかいしぜん「堺自然ふれあいの森・森の館」のきのっちがスタッフに見せてね！



もり ようす はっしんちゅう 森の様子を発信中！ Facebookもチェックしてね！

堺自然ふれあいの森 Facebook 検索

いきものみつけ!

みつかる みどころ



今回は森の館の近くで見られる地衣類の仲間を紹介します。
地衣類とは、菌類（キノコやカビなど）の仲間と、藻類と共生して"地衣体"と呼ばれる特殊なからだを作っています。地衣類を構成している菌と藻は、互いに助け合って生活しています。菌類は藻類に安定した住み家と生活に必要な水分を与え、藻類が光合成で作った栄養（炭水化物）を利用して生活します。

昔は木や岩の表面につく小さな毛のようなものを、みんな「コケ（小毛）」と呼んでいたため、「●●コケ」という名前が多いです。
※コケについては館通信No.120を見てね!

1 ヒメジョウゴゴケ

じょうごの形をした小さな地衣類です。乾燥に強く、日の当たる地面や石垣などでも見つけることができます。



森の館の屋上で探してみよう



2 モジゴケ類

細い文字を書いているかのような、線上の黒い模様が広がるのが特徴の地衣類です。日本中どこでもよく見られます。



木道の周りの樹の幹を探してみよう



3 マツゲゴケ

地衣体の縁にある人の目のまつ毛のようなものが特徴です。他の地衣類と一本の樹木に混生していることもよくあります。



里みちのコナラの幹を探してみよう



★ふれあいの森で見つかるその他の地衣類



コフキチリナリア



ウメノキゴケ



トゲハクテングケ



キウメノキゴケ

観察のポイント

コナラやサクラなど、表面がデコボコしている樹の幹でよく見つかります。樹を調べる時は毛虫やハチにも注意してください。
byきっちよむ

堺自然ふれあいの森

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740
TEL: 072-290-0800

開園時間: 9:00~17:30 (3~10月)
9:00~16:00 (11~2月)

休園日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始

<バス>

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」
「公園墓地北口」下車 徒歩 約1,200m
※日・祝は一部「堺公園墓地行き」もあり（「自然ふれあいの森前」下車すぐ）

<車>

駐車場無料
阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「公園墓地」を目標に お越しください



*ウェブサイトへGO!

イベント情報や最新の自然情報が閲覧できます。

堺自然ふれあいの森 検索

